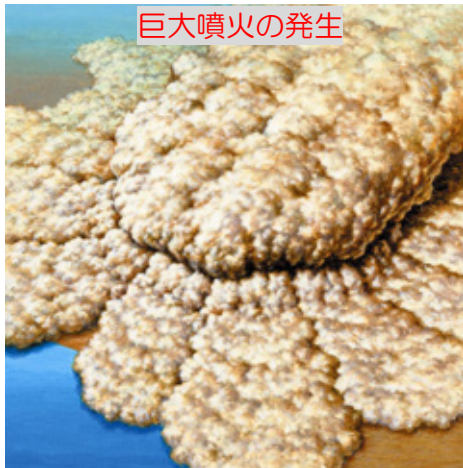


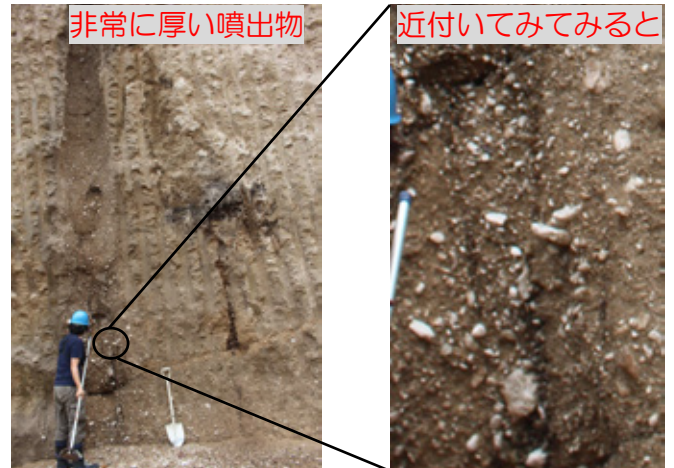
みなさま、初めまして！洞爺湖有珠山ジオパーク学術専門員の西勇樹です。今回は、約 11 万年前に発生した巨大噴火によってもたらされた“軽石”の正体について迫ります！

① 11万年前に起こった大事件！



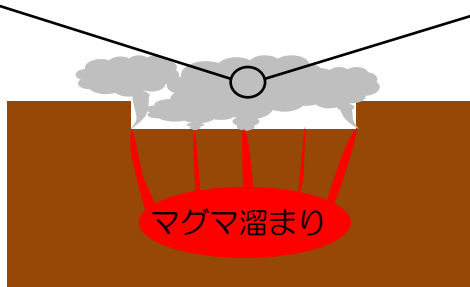
11 万年ほど前に、現在の洞爺湖を中心として、巨大噴火が occurred。この時にできたぼ地（カルデラ）に水がたまって、洞爺湖（カルデラ湖）が生まれました。巨大噴火はとても壮大な事件だったのです。

② 巨大噴火の痕跡



巨大噴火によってもたらされた噴出物が、左の写真です。噴出物の層が非常に厚いことから、大規模な噴火であったことがわかります。次に、近付いて観察した右の写真を見ると、白い噴出物が見られます。この白い噴出物の多くが“軽石”です。

③ 軽石を詳しく見てみよう



軽石は巨大噴火によってマグマ溜まりから噴出しました。軽石をよく見ると、穴がたくさんあいています。それでは、軽石はマグマ溜まり内でどのように存在していたかを考えてみましょう。

④ 軽石の正体とは？



マグマ溜まりを炭酸ジュースとして考えてみましょう。この場合、泡ぶくが軽石です。この泡ぶくが噴火して、冷えて固まると、軽石ができると考えられています。この泡ぶくこそが軽石の正体です。